

累積債務とは

- 1) 1980年代に顕在化した、『発展途上国の抱える先進国への債務』のこと。主に【1: 途上国】諸国と多くのアフリカ諸国について言う場合がほとんど。これが発生した経過は以下の通り。
- 2) 輸入代替工業化 ※1 を実行するために、発展途上国は1970年代にさかんに資金調達を行い、「先進国」もこれに積極的に応じた。特に2回の【2: 途上国】以降は、原油価格の高騰で莫大な資金（オイルマネー）が生み出され、投資先が足りない状況の中で、これがいわば安易な見通しで発展途上国に投資されたとも言える。
※1 輸入していた工業製品を国産化すること。「積極的な工業化政策」ともいい、途上国工業化の本来の姿。
- 3) とところが、その後のグローバリゼーションの進展、発展途上国産品の輸出価格低迷なども重なり、工業化も思うように進まず、1980年代には事実上返済不能であることが明らかとなってしまった。毎年の途方もない債務償還に追われて発展途上国はますます経済発展が困難に陥った。これは国際金融不安を加速する要因にもなるから、「先進国」にとっても解決を要する課題である。1999年のケルン・サミットでは、ロシアを除く7か国が、アフリカを中心とする重債務貧困国に対し、累積債務の約3分の1の債務償還を求めないことで合意した。

途上国の危機

経済基盤の弱い途上国に、石油危機（1973年・79年）は深刻な影響を与えた。

- 1) メキシコでは、制度的革命党（国民革命党から1946年改名）の71年間の事実上の単独独裁体制が2000年まで続いた（2012年から再度政権を取る）。1980年代以来のインフレと対外債務の増大で通貨（ペソ）が下落、1982年には深刻な債務危機に陥った。
- 2) タイの通貨【3: 途上国】がヘッジファンドの標的にされ発生した1997年のアジア通貨危機は、パース経済圏に留まらず、アジアのNIES諸国にも通貨危機を発生させた。特にインドネシア・大韓民国は大打撃を受けた。No.206参照。
- 3) ラテンアメリカは金融・通貨危機に加えて、開発独裁の副産物として成長した中産階級が成長し、1980年代には軍事政権が次々と倒され、民政移管が行われた。以下にアルゼンチンとチリの例を見ていこう。
なお、これら以外のラテンアメリカ諸国は No.202の「戦後のラテンアメリカ諸国」参照。アジア通貨危機で大打撃を受けたインドネシアはNo.205にまとめた。また、1990年代に政権交替を見たインドはNo.179にまとめた。

アルゼンチン

- 1) 1982年、【4: 途上国】（1982年、後掲）に敗北した軍事政権が崩壊。1983年、民政移管が行われた。
- 2) **フォークランド戦争** 1982年4月～6月 【4: 途上国】 宣戦布告までであったので「紛争」ではなく戦争。
アルゼンチン沖にあるイギリス領フォークランド諸島（1833年以来イギリスが占領）の返還をアルゼンチンが要求した。アルゼンチンは、イギリスに宣戦布告し、フォークランド諸島を占領した。【5: 途上国】 首相は議会で「我々は武力解決の道を選択する」と開戦を言明、本当に宣戦布告した。イギリスは陸海空軍を出動させ、最新兵器を使用して奪回、降伏させた。この戦争遂行のみごとさから「鉄の女」の異名と国民の圧倒的支持を得て1990年までの長期政権を維持した。アルゼンチンはここをマルビナス諸島と呼ぶので、「マルビナス戦争」と呼ぶ学者もいる。なお、立憲君主制国家であるので、エリザベス2世は、形式上宣戦布告の権限を持っている。アンドリュー王子は海軍のヘリコプター・パイロットとして訓練を受け、フォークランド戦争ではヘリコプターを駆って実戦に参加した、と言われている。【5】 首相がフォークランド諸島に拘った理由は、①南極大陸に近く、資源探査の拠点として必要。②経済の停滞で元気を失っていたイギリス国民を奮起させ、支持率向上にもつなげる。

フォークランド戦争は、テレビ中継技術の進歩で、ほぼリアルタイムに近い姿で世界中に配信された初めての戦争だった。世界が驚愕したのは、アルゼンチン軍のシュペル・エタンダール攻撃機（フランス製）から発射された1発のエグゾセ（フランス製ミサイル）によって、イギリス海軍の駆逐艦シェフィールドが撃沈された映像だった（1982年5月4日）。運動性能優先のためアルミ合金製の軽量艦は予想以上に脆く、迎撃ミサイルの重要性が認識された。実はエグゾセは不発が多く、シェフィールドに命中したのも不発だったが秒速315mの高速突入による衝撃で艦上の発電システムが破壊され、消火システムが作動せず、エグゾセ自体の残燃料による火災によって沈没した。シェフィールドの沈没によってイギリスの自信は揺るぎ、「エグゾセ」（飛び魚）という語は、「致命的な一撃」を意味する慣用語にさえなった。その後、エグゾセは世界中でまさに「飛ぶように」売れたことは言うまでもない。またイギリスは垂直離着陸可能な低速の小型戦闘攻撃機「シーハリヤー」を投入したが、超音速のジェット戦闘爆撃機より役に立ったことも意外だった。定点待機・戦略核ミサイル発射を主な任務とする原潜が戦史上初めて実戦に投入された。イギリス海軍原潜コンカラーは、アルゼンチン海軍巡洋艦ヘネラル・ベルグラノを魚雷で撃沈した後、素早く離脱した。巨大な原潜は莫大な出力を持ち、予想以上に俊敏だった。地对空ミサイルは安価で威力のある兵器であることが認識され、いまやゲリラ戦の必需品である。フォークランド戦争は最新兵器の実験場であり、今日の中東やアフリカでの「戦場の姿」の原型が、フォークランド戦争にあったといえる。

チリ

- 1) 1970年、チリで、【6: 途上国】をめぐすチリ人民連合 ※1 が選挙で勝利、人類史上最初の選挙による社会主義政権、【7: 途上国】 政権が成立した。【7】 政権は、農地改革や銅鉱山の国有化を断行した。1973年9月11日、アメリカから支援を受けた軍部のクーデターで政権は崩壊。政権を奪取した【8: 途上国】 軍事政権は大規模虐殺など恐怖政治を行った。1983年の経済危機以来、軍部を批判する運動が高まり、1988年の国民投票で民政移管が決定された。
※1 チリの革命歌『ペンセレモス』はチリ人民連合のテーマ曲として歌われた。YouTubeなどで試聴できる。
- 2) 南米で「9.11」と言えば、2001年のアメリカの同時多発テロではなく、1973年のチリクーデタを指すことが多い。その日、アジェンデ大統領は官邸から一步も退かず、自ら軽機関銃を手に戦ったと言われている。そのほか、戦死、ミサイル攻撃

による爆死、また自殺説がある。

《アジェンデがラジオを通じて行った最後の演説》 1973.9.11 午前9時10分

……人民は自分自身を守らねばならない、しかし自分自身を犠牲にしてはいけない。人民は圧殺されても、迫害されてもいけない。しかし卑屈であつてもいけない。祖国の労働者よ、私はチリとその運命を信じます。……(中略)……遅かれ早かれ、再び大きな並木路が開かれ、そこをより良い社会を建設するために自由な人が歩くことを。チリ万歳！人民万歳！労働者万歳！これらが私の最後の言葉です。私は、私の犠牲が無駄にならないと確信している。……以下割愛

「アジェンデ最後の演説 チリ・クーデタ」(音声)はYouTubeで視聴できる。

3) ピノチェト政権で経済は回復したかに見えたが。

16年の軍事政権下で、数千人の反体制派の市民が投獄・処刑された**※2**。ピノチェトは、アメリカのシカゴ学派の経済学者を登用し、後に【9: **】****※3**と呼ばれる市場原理主義政策を実行した。その結果、一時は「チリの奇跡」と呼ばれる程に経済は回復した。しかし、結果的には一部の富裕階級が利益を得ただけで、アジェンデ時代以上に大きな社会格差と貧困**※4**をチリ社会にもたらした。この間、「自由の擁護者」であるはずのアメリカは、ソ連の崩壊で南米の共産化の危険が完全に消えた1991年12月以降も、ピノチェトの軍政による酷い人権侵害を見て見ぬ振りをし続けた。1988年にピノチェトは国民投票で敗北、1990年に辞任した。2006年、91才で死去。この間、何度か訴追されたが高齢と病気を理由に裁判は行われていない。

※2 アメリカの娯楽映画『ミッシング』、ドキュメンタリー映画『サンチャゴに雨が降る』はこの時のチリをリアルに再現している。ピノチェト政権の暴政下、チリの国民的シンガー・ソングライターであるビクトル=ハラ(ピオレータ=ハラ)は虐殺された。

※3 これが、イギリスのサッチャー政権、アメリカのレーガン政権やクリントン政権、日本の中曽根康弘政権や小泉純一郎政権などが、新自由主義を実行する先駆けともなった。

※4 1973年には4.3%であった失業率が10年間に22%に上昇。貧富の差は急激に拡大し、貧困率はアジェンデ時代の2倍の40%に達した。そのため、政権末期にはシカゴ学派を追放し、ケインズ政策を実行して軌道修正を図った。こうして、ピノチェト時代のチリは「失われた10年」とまで言われるようになった。

光州事件

No.205 大韓民国の開発独裁 のつづき

1) 1979年、朴正熙は側近により射殺された。しかし、権力を掌握したのは軍人の【10: **】** チョンドウホアン 任1980-88 だった。彼の強権政治の下で、1980年、【11: **】** が起きた。大韓国民民主化の歴史の中で非常に重要な事件である。

光州事件の概要：全国で民主化要求のデモが続いていたが、全斗煥の新軍部は1980年5月17日、全国に戒厳令を布告し、有力な野党指導者の金泳三・金大中や、旧軍部を代弁する金鍾泌を逮捕・軟禁した。金大中は全羅南道の出身で、光州では人気があり、彼の逮捕が事件発生の大きな原因の一つ。5月18日、光州市で大学を封鎖した陸軍空挺部隊と学生が自然発生的に衝突、翌19日にはデモの主体も学生から激昂した市民に替わった。市民はバスやタクシーを倒してバリケードを築き、角材や鉄パイプ、火炎瓶などで鎮圧部隊に応戦した。21日に群集に対する空挺部隊の一斉射撃が始まると、市民は地域の武器庫を奪取して武装し、これに対抗した。戒厳軍は一時市外に後退して、光州市を封鎖(道路・通信を遮断)、包囲した。マスコミは軍部の完全統制下にあり世界は真相を知らなかった。無政府状態の光州市は市民の自治で治安と秩序を維持した。結局、一部闘争派を残して自主武装解除を行い、市民に占拠された全羅南道庁に対する鎮圧命令が下った。27日抗争指導部を率いていたユン・サンウォンを含む市民軍の多くが射殺され、鎮圧作戦は終了した。人口75万の光州市に投入された総兵力数は2万に至った。これは**事件**というよりは**市街戦**であり内戦であると言ってもいいだろう。正確な犠牲者総数は不明。

2) これ以降の民主化過程は年表形式で見ている。

- 1987年 6月、大統領候補 盧泰愚 ノテウ、「6.29民主化宣言」を発表。
11月、大韓航空機爆破事件……ソウルオリンピックの妨害が目的とされる。
- 1988年 全斗煥から【12: **】**(ノテウ) 政権へ、韓国初の平和的政権交代が行われた。(盧泰愚も陸軍大将で軍人)
ソウルオリンピック開催 韓国で市民的自由が確保されるようになるのは、ようやくこのころである！
1980年代末には、台湾、シンガポール、香港とともに、**アジアNIES**(新興工業経済地域)と呼ばれるようになった。
- 1991年 【13: **】**加盟(南北同時)
- 1992年 中韓国交正常化
- 1993年 【14: **】**キムヨンサム 任1993-98 大統領に就任……32年ぶりの文民政権である。
- 1998年 **金大中** キムデジュン 任1998-2003 大統領に就任……「太陽政策」を始める。
- 2000年 南北両朝鮮首脳会談、南北共同宣言
- 2003年 **盧武鉉** ノムヒョン 任2003-08 大統領に就任。
- 2008年 【15: **】**(イ・ミョンバク 任2008-2013 ハンナラ党)、第17代大統領に就任。李氏は日本占領時代、1941年に日本の大阪で生まれ、貧しさのため露天商などで生計を支え、企業トップに登り詰めた立志伝中の政治家である。
- 2013年 **朴 槿恵** (パク・クネ 任2013-17 セヌリ党) 第18代大統領に就任。朴正熙の長女。セウォル号事件への対応不備や崔順実関連の事件など一連の不祥事により、2017年3月10日に大統領弾劾が成立して罷免された。1987年の民主化で弾劾制度が導入されてから初めての大統領罷免のケースとなった。
- 2012年 **文在寅** (ムン・ジェイン 任2017- 「共に民主党」) 政治家、弁護士、市民活動家。

永遠に国民党一党独裁かと思われた台湾でも

1987年に戒厳令 **※5** 解除。1988年以降、【16: **】** (リートンホイ 総統1988-2000) は中国・台湾「二国論」を主張して国際緊張を招いたこともあったが、彼の政権下で民主化は進み、2000年には中国国民党ではない(民主進歩党の)【17:

】(チェンショイピエン 総統2000-2008) が当選した。再び中国国民党の**馬英九**(総統2008-2016)に戻り、現在は再び民主進歩党の【18: **】**(ツァイ・インウエン 総統2016-)である。

※5 戒厳を布告すること。戒厳とは戦時等において兵力をもって一地域あるいは全国を警備する場合に、国民の権利を保障した憲法・法律の一部の効力を停止し、行政権・司法権の一部ないし全部を軍部の権力下に移行することをいう。